

西多摩医師会報

1985年8月1日

153号

発行所・社団法人 西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103

編集委員・村山 正昭

TEL.(0428)23-2171(代)

荒卷 武彦

石井 好明

栗原 琢磨

小林 杏一

堀田 洋夫

渡辺 良友



残暑お見舞申し上げます

波田野 洋夫 画

時 報

西多摩地区医療保健衛生協議会報告

委員長 西村 邦 康

開催日時 S 60. 7. 3 PM 1 : 30
 場 所 福生市健康センター
 出席者 医師会 西村、大塚、中村、松原、
 川辺、川崎
 保健所 大友所長、高安課長、新井課
 長、林課長(福生総務)
 市町村 小沢、小林、佐藤課長

対象者を限定しない、即ち当該疾病で加療中の者を除外しない。具体的には「青梅保健所だより」に現在治療を受けている者は除くの字句を挿入しない。理由：健康人、病者の概念は大変あいまいである。貧血、肥満、高血圧、糖尿病等成人病の病態は健康者、病者とクリアに分別し処理するのは妥当ではない。

議題

- I 保健所における健康増進指導事業について
 本事業の現状について
- a) 福生保健所 新井予防課長
 健康増進コースを6月5日、10日、12日、19日実施
 対象者21名
 貧血コースを7月3日、8日、10日、17日実施予定
 今後9月、10月、11月、2月、3月に健康増進コース、肥満コース、糖尿コース、高血圧コース、健康増進コースを実施する予定
 評価はおおむね好評であった。
- b) 青梅保健所 高安予防課長
 ※所内各担当者が本事業の研究協議を行い、具体的な方針を検討し所長の海外研修帰国後具体的事項を決定する。
 ※以上の決定にもとづき本事業実施計画を具体的に西多摩医師会に説明する。又7月末の青梅保健所老健連絡協議会で説明する。
 ※高安課長の意見として
1. 本健康増進事業の意義に疑義がある。
 今迄のミニドック、健康教室でも良いのではないか？貧血、肥満、高血圧、糖尿コースとコース分けすることの意味が充分納得出来ない。
 成人においては、それぞれの病態は複合体に内在しており、全体として把握してこそ意味があり個々に抽出しコース別に指導することに疑問がある。
- ロ. 市当局の実施している保健事業との関係
 ハ. 医療との関係

- c) 五日市保健所 大友所長
 現時点において本事業実施具体的な事項は決定していない。9月以降、現在実施している予防教室を基本にして予防教室＋検査を行い、要綱の4コースの中2コース(高血圧コース)を実施する予定
- d) 秋川保健相談所 所長
 健康栄養指導を行う予定
 但し五日市保健所事業の一環として事業を行う60年度は独自の事業は実施しない。

質疑

- ※ 市町村 小沢課長
 健康増進指導事業について本日初めて内容を知ったため特にコメントはない。守備範囲を明確にして欲しい。
- ※ 医師会
1. 三保健所の本事業に対する基本的な考え方に違いがあるようだ。又事業内容がそれぞれ異なるのは何故か？(三保健所長、医師会幹部との打合せ会では、三保健所が大わくにおいて足並をそろえ、本事業を実施すると合意があった筈である。)
 2. 医療への介入
 保健所側に本事業の主旨、実施要綱の理解不足があり、実施段階で医療への介入の危惧がある。医療機関からの紹介者の活用を充分検討する必要がある。
- II 胃集検事業について
- ※ 保健所説明
 都実施の胃集検事業は予算措置がとられたのみで具体的な事項については何んらの進展がな

い。

※ 医師会説明

1. 胃集検事業についての西多摩医師会の対応
 - イ. 本年西多摩医師会胃検診委員会が発足した。
 - ロ. 都実施主体の胃検診事業については、西多摩医師会胃検診委員会と衛生局・保健所とが協同で検診事業を実施すべきである。そのため読影などを含め具体的な方法について早急に両者で協議する必要がある。
 - ハ. 精密検査は地元医療機関で実施する。
2. 市町村実施主体の現行胃集検について
 - イ. 都実施の胃検診事業、実施方法に準じて実施するよう希望する。
 - ロ. 本事業の精密検査も上記方法に準じて地元医療機関で実施する。
 - ハ. 前回1月に開催された医療協で問題提起を行った要精密該当者の通知方法の改善即ち現行の検ガンセンターから直接該当者へ通知する方法を改め、市町村の当該窓口を通し該当者に通知するよう通知方法を改めて欲しい。

総括

【 健康増進指導事業について

※保健所は本事業の理解を深め、三保健所間で事業内容の調整など事業内容を充分検討する必要がある。

※医師会も本事業内容について再検討をする必要がある。

※保健所、西多摩医師会とも内容を充分検討した上で、両者が協議を行い本事業を推進する事が望ましい。

Ⅱ 胃集検事業について

西多摩医師会の対応策を充分認識し、保健所、市町村とも医師会と具体的に協議に入るよう努力して欲しい。

Ⅲ 一昨年当地区自治体は西多摩広域行政圏を発足し、西多摩地区の発展と行政効率を図っている。西多摩医師会も昨年、西多摩地域医療計画1984、を策定して西多摩地区の医療（包括医療即ち狭義の医療、保健、福祉）の質的向上、今後の課題を指摘した。

本日の議題、健康増進事業、胃検診事業もこの観点から、市民のための事業がよりよく実施されるよう市町村・都（保健所）、医師会が三者協力し事業を推進する必要がある。

学術講演会

コ・メデイカル向け学術講演会開催される

演題「近年問題になっている有害な動物」講師 東京歯大医動物学教授 加納六郎先生、昭和60年7月11日(木)午後1時30分より2時間20分間 羽村町保健センターで、学術部、公衆衛生部、学校医部、産業医部共催で行われた。聴衆は西多摩全域の各保健所、各教育委員会、各自治体と産業医関係事業所の健康衛生管理者、会員と看護婦、薬剤師などで出席者は会員関係46名、教育委員会17名、保健所・自治体・その他21名 計84名の参加があった。

講演内容は会場にて配布したポイントの通りであるが特に、ステロイド軟膏誤用により起るノールウェイ疥癬のすさまじい伝染力の実例と治療法、ハチ刺症による死亡者はヘビ咬症による死亡者より多い。ヤマカガシが無毒と思われていたが毒

があり、咬傷より出血があった時は直ちに治療抗血清・交換輸血の治療を行なわないと命にかゝわる。

輸入マラリアの発病は年間300人、熱帯熱は発症後5～7日で死亡するから誤診や診断のおくれがないように。ハチ刺症の死亡者は年間40～50人であり、その内80%はアナフィラキシーショックで死ぬから、「熱帯地から帰国したか、ハチに何回さされたか」と問診を必ず行うことが大切である。恙虫病とオウム病との治療はテトラサイクリン系抗生物質とクロラムフェルコールが著効を示すがβラクタム系抗生物質は無効であること等々。

この講演会のアンケート調査の結果は —
〈質問1〉 講師の講演について

(4)

1. 大変よかった。 57名 ロ. よかった。 6名
ハ. 期待したほどでなかった。 0名 計63名
〈質問2.〉 その他の御意見、御希望、御感想、

◎医師会主催の講演会に初めて参加させていただき、その内容は期待した通り、学校現場に通用するもので、大変参考になりました。ありがとうございました。

◎勤務校が山の中にあり、ハチ、ヘビのお話は非常に参考になりました。 ほけんだより等でも知らせたいと思っています。ありがとうございました。

◎新しい治療法など大変参考になりました。ありがとうございました。 小学校 養護教諭

◎ハチ=アンモニア等誤った知識をもっていたこと、忘れかけていたシラミ等再認識することができました。身近に発生しえる興味ある内容で参考になりました。

◎我が病院でも疥癬が多いので、暗中模索でしたがオイラックスが良いということで参考になりました。

◎高名な先生の講義を受け感激しております。医師会主催でなければ拝聴できません。今後も勉強の機会をおねがいしたいと存じます。演題がめづらしく、実生活にやくだち参考になりました。

◎身近な問題を取り上げて、話が上手でやさしくわかりやすく話して頂けて大変勉強になりました。(4通)

◎多少なりとも勉強になりました。自分の身の回りは常に清潔にしたいと思います。

◎5年ほど前西多摩医師会館で平山先生の予防接

種に関する知識について講演を聞きましたが大変勉強になりました。市町村の自治体でも職員の移動(学校の養護教諭も同じ)もあり、是非もう一度お願いしたい。

◎なるべく医師会員対象のみでなく、西多摩地域の保健所、市町村、教育委員会をも対象とした講演をもう少し頻回にやってほしい。

◎年に1回程度開催してもらいたい。

◎少し時間が長い90分ぐらいがいい。

〈質問3.〉 今後開催を希望されるテーマと講師

◎今回の様な身近な問題 ○①薬物中毒及び救急処置 ○②内科診断に必要な皮膚疾患。○発疹を伴う感染症について。○肝機能障害について。○老人保健法の健康診査について。○災害医療について。○心身症について、その対応。○アトピー、アレルギー、ぜんそくの治療方針。○はだし、土ふまずについて、野田雄二先生 ○子供の心理発達 東大 上田先生 ○予防接種の知識 東大 平山宗宏先生

以上のごとく140枚のスライドを使用した明解な講演で、成功裏に終了したことを報告する。

アンケートにも見るごとく、今後共少なくともコーメディカル向け学術講演会を年一回は開催するように次期委員会に要望する次第である。

尚、瀬戸岡会長の挨拶があり、この講演会開催の趣旨は「西多摩地区医療計題84」に関連した事業であることに言及し、又、担当者を労らう一言があったことを感謝し筆を擱く。

※参考までに当日配布した講演会ポイントを掲載する。

近年問題になっている有害動物の講演会ポイント

東京医科歯科大学医動物学教授 加納六郎先生

昭和60年7月11日(木) PM. 1:30~3:30

西多摩医師会 学術部・学校医部・公衆衛生部・産業医部

シラミ

2種類 (1) ヒトジラミ…頭ジラミ、衣ジラミ

(2) 毛ジラミ…陰毛、腋窩、マツゲ

治療 スミスリン(住友製薬)撒布 頭髪7g、陰毛2g撒布して1~2時間経って洗髪。3日置に3回施行。100%治療。理論的には卵がふ化するのに10日だから、10日後に1回すればよい。

疥癬

1人に1000匹以下であるがノールウェー疥癬は200万匹もいて、ものすごい伝染力あり。

治療 I-BHC(リンデン軟こう)で一発で治療一番効果があり、一番副作用がないのだが日本にはない。オイラックス(オイラックスHとオイラックスSはステロイドが入っているため用いてはならない)、硫黄剤。ステロイド軟こうを決して使用してはいけない。ノールウェー疥癬になるから、医原病であるから要注意。

ダニ

疥癬、恙虫病もダニによっておこるが、その他山岳地帯でマダニに吸血されたり、家の中でイエダニ、ワクモなどに刺されることがある。また家の中にいる小形のダニによる皮膚炎や室内塵中のコナダニやヒョウヒダニによるダニぜんそくが多くみられる。

恙虫病

病原体はリケッチヤ、媒介者は恙虫で幼虫がリンパ液を吸う。

症状 高熱 $39^{\circ}\sim 40^{\circ}\text{C}$ が2～3日続き全身に発疹が出る。特有の刺口(esche)がってリンパ節が腫れている。

診断 血清、間接蛍光ペルオキシダーゼ法。3時間でわかる。

治療 オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン、クロラムフェニコール(β ラクタム系抗生物質(ペニシリンやセファロスポリン系)は無効)

ハチ

スズメバチ、ミツバチで何回も刺れると危い。年間40人～50人死ぬ。毒はヒスタミン、セロトニン、ブラジキニン等で血管にささると15分で死ぬ。アナフィラキシーショックでは1時間以内で死ぬ者が多い。死者の90%は5時間以内で死ぬ。

治療 抗ヒスタミン剤、ステロイド剤塗布(重症例では内服と注射)。アンモニアは有害無益である。

施毛虫症

小腸に寄生する数ミリの線虫。幼虫が血行性に心筋と横紋筋などをおかす。

症状 発熱、じんま疹、筋肉痛を起し重症例や死亡例もある。青森、北海道、三重。クマ、豚肉、イノシシなどの肉を生で食べないこと。

マラリア

現在でも年間2億人の患者と200万人の死者があると推定されている。現在重要なことはクロロキシンやファンシダールなどの特効薬に対して、

抵抗性をもつ原虫が出現している。日本では輸入マラリアで年間300人。発症までには熱帯熱は短く帰国後3ヶ月以内、特に1ヶ月以内が多く、3日熱では3ヶ月前後が多く1年以上のものもかなりある。

近年熱帯熱では9%にあたる15人が死んでおり、誤診や診断のおくれが原因。熱帯熱は発症後5～7日で死亡するものが多いから熱帯地から帰国したかどうか必ず聞くこと。血液を耳から取り顕微鏡で自分で見なさい。(ギムサ染色、外注ではわからない)

治療 クロロキシン、プリマキン、ファンシダール。だめな時はキニーネ

予防 帰国後6週間予防薬を内服するとよい。

オウム病

近年東京付近でもかなり患者がみられる。病原体はクラミジアで流感や肺炎のような症状がおこる。オウム、インコ、ハト、ニワトリその他すべての鳥が感染する。そのほか人やほ乳類も感染する。

治療 恙虫病と同様テトラサイクリン系抗生物質とクロラムフェニコールが著効を示す。 β ラクタム系抗生物質は無効。

ヘビ

マムシ、ハブ類が毒蛇として知られているが、ヤマカガシが無毒と思われていたが2種類の毒があることがわかり、奥歯で咬まれると危険。10数名の報告があり2名死亡している。

治療 交換輸血、抗血清

フグ

早く適切な処置をすればほぼ100%死亡はなくなった。1. 呼吸筋の麻痺と 2. 血圧下降で死ぬ。
1. レスピレーターで呼吸維持 2. 点滴血圧維持(昇圧剤)20時間すれば自発呼吸が出て毒は排せつされる。

(文責 塩澤 永康)

加納教授は全国的規模での症例を供覧し、頻度的には稀な症例でも第一線臨床医として心得ておくべき診断、治療のポイントを説明した。そのなかでマムシ咬傷については時間の都合もあり、原則的抗血清療法についてのみ解説されたが、西多摩地域においては昭和30年中頃より青梅市立総合病院外科の治療経験の蓄積があり、大橋前院長に引続き、山田忠義外科部長がファランチン療法の重要性を医事新報に報告している。また毎日新聞紙上(60-8-2)にも同様の報道がなされたので、会員のみならず医療・学校関係者に一読をすすめたい。

- 1) 山田忠義、石井好明、大橋忠敏他、マムシ咬傷の経験と治療についての考察 - 26年間80症例より - 日本医事新報 No.3192, 1985
- 2) 毎日新聞、60年8月2日、家庭欄、「マムシにご注意」

文責 村山

西多摩医師会学術講演会「上部消化器癌の早期診断とその予後」を聴講して

5月28日、医師会館で東海大第二外科講師幕内博康先生の御講演を拝聴した。学術部長塩沢先生の御提案で、今年は、各講演会ごとに当番を決め、その当番が勉強してきた会を盛り上げることになり、小生がそのトップを承ることになった。単なる抄録よりも、私どもの現状や感想を付記した方が面白いのではないかと思い、「聴講して」という題にした。

副題は「上部消化管内視鏡の進歩、特に食道癌のスクリーニングと早期食道癌について」であり、幕内先生は慶応がんセンターで外科医として食道の内視鏡も勉強されたとのことで、小生も内視鏡をやる外科医の一人として、親しみを感じた。

始めに要点を言われた。「胃を見る時は、食道も見て載きたい。」と。又、終りに「見えやすい、胃癌より食道癌の方が見つけやすい。但し、念頭になければ、見ても見のがす。」と追加された。直視型ファイバースコープの普及により、食道癌発見の増加が期待されたが、目下のところ期待外れであると、この春の内視鏡学会でも発言され、私どもの内視鏡室では、直視鏡は3,000件を越えた程度であるが、まだ食道癌を偶然発見したことがないと質問したが、「これから次々と見つかるかも知れませんよ。」とのお答えであった。

最近の上部消化管内視鏡の進歩としては、細径の直視型ファイバースコープGIF-P3の出現を強調され、このため、咽頭・喉頭から食道・胃・

十二指腸乳頭部まで一回の内視鏡で見ることができるようになり、患者への苦痛や侵襲が少なくなり、食道内や十二指腸球部内での反転も可能となって、病巣を肛門側から見ることもできるようになったと話された。又、ルゴールやトルイジンブルーを用いた色素内視鏡により、平坦型早期癌(Ⅱb)の診断や、病変の良悪性の鑑別も容易になったし、上部消化管出血の時は、直視型で緊急内視鏡を行ない、出血源を確認した上で、適切な処置をとるのが常識になっているとも言われた。

これは私どもも実行しているが、怪しい食道病変にはルゴールをかけて見るということも、早速やってみようと思った。

又、内視鏡の治療に関しては、ポリペクトミーの応用で、粘膜下腫瘍の生検乃至摘出も可能であること、潰瘍出血に対するエチルアルコールなどの局所注射法、食道静脈瘤出血に対する硬化剤注入法などの内視鏡的止血術の発達により、緊急手術の必要性はなくなったとも言われたが、私ども実感もこれに近づきつつある。

食道癌の早期診断を妨げている要因としては

- 1) 集団検診が殆んど行なわれていないこと、
- 2) 医師及び患者の関心が乏しいこと、
- 3) 比較的進行が早く、症状を自覚しにくいことを上げられ、今日発見される食道癌の半数は第4期の癌であるとのことであった。

私どもの胸部外科でも最近では年平均4例位の食道

癌手術があるが、すべて進行癌であった。

早期食道癌についても、微小癌を含めて多くの症例のスライドを見せて下さったが、平坦型、びらん型の診断はレントゲンでは不可能で、内視鏡でのみ可能であるが、隆起型や粘膜下より深く進展した場合はレントゲンでも見つかる筈であり、多発病巣も稀でないので、注意を要するとのことであった。

集団検診については、慶応がんセンターでの食道・胃同時集検を 155,946 例に行ない21例の食道癌を見つけ、発見率は0.013%といささか士気阻喪的成績であったが、男性で高齢者というハイリスクグループに限って行なえば、もつと能率的に発見できる筈であると言われた。

食道癌手術例の予後については、全国平均で5年生存率20%が現状であり、早期なら100%と言えるが、粘膜下に浸潤し、リンパ節転移を起せば、生存率は急降下して進行癌と大差なくなってしまう、従って、早期癌が集る施設ほど、手術成績がよくなる筈であるとのことであった。

尚、胃癌死が減っていると言われて久しいが、私どもの外科の胃癌手術例は、20年前は年間20例前後であったのに、最近では年40乃至50例と倍増しているのをどう解釈すべきか、質問したが、都心では確かに胃癌は減っており、この地区がまだ増

えているとすれば、それは「未開拓」であるためではないでしょうか、とのお答えであった。胃癌全体に対する早期胃癌の割合も、慶応がんセンターでは85%に達しているとのことであるが、私どもの外科の手術例では、第1期胃癌の割合は20年前2%、15年前11%、10年前13%、5年前21%と上昇したが、以後、伸びていないようである。新任の院長も、早期胃癌はもっと多い筈だと言われた。青梅では、市が毎年春秋に休日早朝から検診車を頼んで胃集検をやっており、周辺地区より抜群により受診率(それでも対象人口の11%に過ぎないとのことである。)を上げているのだが、胃癌全体が増えているのにその割には早期胃癌が増えてないのは、どこに原因があるのであろうか。患者側にあるのか、診療側にあるのか、検討を要する問題である。

私どもの胃癌切除例の5年生存率は20年前28%、15年前36%、10年前42%、全開腹例に対する5年生存率はそれぞれ15、20、26%(5年前の成績は本年9月1日以後調査の予定)と徐々に向上しては来たが、更によくするには、集検やドックによって胃の検診率を上げ、早期例を増やすのが最も有効な方法であることを再認識させられた御講演であった。

(学術部 石井 好明)

文芸

「原爆四十周年迎えて」小泉 新策

原爆のノーマアヒロシマ
月日は流れて 今日に迎えぬ
四十周年

悲しみは 敗戦の 一点に 凝集す
山河残れど 民族の 魂 消ゆる

大和なる 大和魂 培える 民族の掟
この日 消滅す

ひたすらに 敗戦の悲惨 偲ぶのみ
民族の興亡 歴史のひと駒

今時に 何を語ると うそぶくかに
世代は遷り 唯々悪夢視して

願はくば シェルター 無用の世の中を
永遠につゞけて 地球護らむ

「医療の明暗」

恐れられし エイズの 遺伝子組み替え
成ると 血液病に 曙光見ゆるか

簡素化を 目途と 進め来し医療
崩れ ぐずれて 煩瑣極る

三十数種に 分別す 医療事務
簡素化への 改正 果たすらの願望

公 衆 衛 生

松 原 貞 一

1. 健康増進指導事業

「老人保健法の施行に伴う保健所の機能の強化について」という通達に基づいて、保健所が従来行っていた保健栄養学級・成人病教室・ミニドック・健康相談などの事業を統廃合し、健康増進指導事業として実施することになり、多摩地区の先頭を切って6月より福生保健所が実施。アレコレ色々の経緯はあったが、医師会としては本事業を理解し協力することになり、第一回目は6月5日より毎週水曜日4日間「健康増進指導コース」を松原が、第二回目は7月3日より毎週水曜日4日間林先生が「貧血予防コース」を担当した。対象は保健所だけで公募したもので、大体20名前後が参加した。事業内容は、従来の健康診断・健康相談・栄養指導のようなもので、参加者は結構満足していたよう。医師会の協力体制がこのような形でよいか否か尚検討の余地があり、又青梅・五日市保健所でもそれぞれ変った形の事業を考えているようであるので、これから更に三保健所がほぼ同スタイルで実施出来るよう、又医師会としてももう少し協力し易いような形が出来ないものかと、西村副会長を中心とした医療協の場でも検討を進めている。

2. 子宮がん節目検診

都衛生局は従来東母方式として実施されている30才以上の老健法ヘルス事業に基づく子宮がん検の中に割り込んで、節目検診と称して40歳50歳などの検診は東母方式ではなく都がん検診センターで細胞診検査を行なうことを計画している。現在各市町村によって実施時期は異っているが、いずれも期間を区切っており、住民はその期間内に登録医療機関に行ってサンプルを採取、市町村によってはそのサンプルを会員が自分で東母に送っている所と行政の保健衛生課がサンプルを集めて来て東母に送っている所がある。節目検診となると節目に当る対象に個別通知を出すので、検診率が急上昇して実施医療機関に混乱はないか、又行政が集めている市町

村はよいが、会員が自分で発送手続をとっている所では、東母へ送るべきかがん検診センターなのかと一つ一つ神経を使わなければならない、雑にならないかなど幾つかの問題点がある。西多摩地区では、今後サンプルは総て行政に集めてもらい、行政が送付先を選別し処理するような形にしたいと、東母の会長 近藤 肇先生が私見を理事会に出された。

3. 福生保健所 予防課長 交代。

新井愛彦先生が荏原保健所長に栄転。後任に立川保健所より早川芳江先生が着任された。

先生は、埼玉県出身

東邦女子医大 昭26年卒

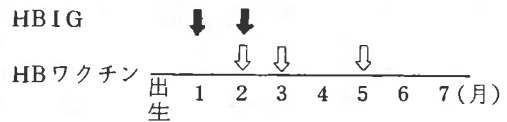
日赤医療センター・社会保険中央総合病院などの小児科

昭和52年より武蔵野・小平・立川保健所予防課長を歴任

7月より福生保健所

4. 6月より妊婦検診にHBs抗原検査

従来から実施されている妊婦検診にHBs抗原検査が加えられ、陽性者には更にHBe抗原検査が追加されている。これはHBs抗原陽性妊婦より生れた児の80~90%がキャリア化する為、この母子垂直感染を遮断すれば、いつかは痘瘡のようにHBs肝炎を撲滅することが出来るのではないかといら考えからである。HBs抗原陽性であっても、HBe抗原陰性の妊婦より生れた児が、キャリア化する率は10~20%で僅かである。実際には



E B 人免疫グロブリンは妊婦のHBe抗原量が多いと分娩後24時間以内静注が考えられている、効力のうすれる2ヶ月に再び筋注同時にワクチンを接種、ブースターを期待3ヶ月・5ヶ月と3回接種を行う。

女の一生

松原貞一

毎年開かれている健康教育の一部を今年も担当することになったが、演題が何んど「更年期障害」。題目が何分にも専門外のことなれば、国家試験以来30年振りに婦人科の教科書などを読み漁った。泥縄・付け刃といった所ではあったが、更めて女性の体の複雑さに感心して下記の雑文を書く気になった。元々講演会を聞きに来られる常連が40代50代のご婦人たちとあれば、「更年期障害」という病題は正にピツタシお誂え向き、従って当日演者の話の内容とは別に満席御礼の盛況であったことはいうまでもない。

女性の一生は婦人科の成書によると、幼年期・思春期・爛熟期・更年期・老年期となっており、卵巢の機能が眠っていて未だ目覚めていない幼年期とは、当世など後ろからは勿論時には前から見ても男か女かわからず、パンツを脱がせるまでの区別がつかぬというややこしき時代。やがて春宵を貧ほる卵巢がいつかたともなく呼び起こされ女性ホルモンの分泌が始まるようになると、胸は高まり腰はくびれて畏こ所に恥かしながらと若草が芽えて来る。思春期である。初潮は今や小学校の高学年10才前後でその昔より1~2年早くなっているようであるが、卵巢に春のめざめを起させるのは如何なる機構によるものであろうか。確かに小学校から中学校にかけて身長が急増する年があると、やがて初潮が現れるという。視床下部がどこかで春が来たことを感じとり、下垂体に指令を出して、性腺刺激ホルモンを分泌させることから総ては始まるようである。以後下垂体・卵巢・子宮は三味一体となって毎月微妙なやり取りを繰り返しながら、やがて規則正しく月づきのものとなって現れる。毎月きまって来るので月のもの、ドイツ語では *das Monatliche*、英語の *monthly*、いづくも似たような発想がどこにも似たような言葉がある。月経というのは、ドイツ語の *Monatfluss* の直訳であろう。メンスは、*Menses* より *Menstration* の略称と考えた方がよさそう。生理は矢張りドイツ語の *Regel* から来たもの。他に月やくともいわれ、月役とすれば毎月の役目、月厄ととれば月々の煩らわしきも

のということになる。爛熟期となって以後30数年、女性の体は人類の未来を背負って、延々と果しなき繰り返しが続いて行く。もともと思春期卵巢には約40万の原始卵胞があるといわれるが、毎月1ヶ宛成熟卵子が排出されるとしても、計算してみると女性の一生ではその数ザット400足らず、受精はともかく成熟卵として陽の目を見るのは原始卵胞1000にひとつの幸せなお方。更には運よく精子と巡り会え後世にその名を残すことの出来る果報者は20~40万に1ヶ、正に宝くじ的な確率なのである。しかし男の場合1回にその数3億とか、男の一生では何ほどの数になるのかその天文学的數字に、早や計算をする気力もない。人生は正に、後悔と無駄の連続である。この成熟卵を採り出し試験管の中で精子と混ぜ合わせるのが体外受精、一度に何コかの受精卵を作っておき、余ったものは凍結しておいて、失敗の折には次々に解凍して試み、成功の既には残りは総て破棄することになっているらしい。凍結卵を冷凍庫に入れたまゝ、夫婦が交通事故死など考えられぬことでもなく、受精卵を人の命の始まりとみるか否か、夫婦に莫大な遺産があったりすると、話は益々ややこしくなる。

女体の中のホルモンの変化は、正に千変万化にして定まる所がなく、前記三味一体の微妙なバランス、アンバランスが、排卵となったり月経となつたりする。何故排卵が起りどうして月経となるのかあら方解ってはいらぬものの、あまたある卵子の中でどうして月づき1ヶ宛なのか、今月は右の卵巢なのか左からか、その選り出しは一体どこで誰がやっているのであろうか。排卵が起ると卵子の命は数日と聞く。卵子の死をどこかで感じた黄体は、1週間前後でやがてしぼんで月経となる。受精すれば数日の内に感知、黄体は妊婦黄体となって以後10ヶ月間機能を続けることになる。ハネムーン・ベイビーとかいって、事の何かも分らぬうちに妊娠する例もあり、思春期をすぎた女体の中には、ゴナビスより遙かに精度のよいセンサーがどこかにある筈である。月経が止って、喜ぶもの驚くもの、いづれにしても女性にとっては一大

事であることには違いはない。萩野式とか何とか計算づくの事であっても、月々のものをみるまでは気が安まらぬというお方もおられるとか。男は月給・女は月経に支配されるというが、けだし名言。過日「生理が止っている。この齢になって、まさか妊娠ではないでしょうね」と病気にでもなったが如く来院なさった更年期とおほしきご婦人、いかなるご事情かは存じ上げないが、女性はいくつになっても大変だナァと、秘かにご同情申し上げた。その上月肩が張るの頭が重い、顔がほてるのイライラするのと、時には茶碗を投げつけたくなる等という訴えを聞いたりすると、男に生れて本当によかったと、なん千億分の一かの数奇の出あいに手を合せ感謝をしないわけには行かなくなる。月経があったりしたら、男はオオチオチ戦争もしていられなかったに違いない。

当節閉経は49歳前後とか、その前あと数年を更年期という。これも又ドイツ語のJahre-Wechselの直訳である。平均寿命50歳であった終戦当時が47~8歳であったことを思うと、その頃より女性の寿命は30年も延びているのに、閉経の時は殆んど変わっていない。されば今や更年期を女の命の終りなどと考える習しは消え、退職金や年金をガッ

ポリ残し、相棒は10年も先に死ぬ計算になっている当世、楽しきは女の人生と、生殖の負担から解放され秘かに第二の青春を夢みている方々もおられる筈。小森のオバチャマのはしゅぎ振りを見ていると、そこはかたなく女性の人生が楽しくなってきたるではありませんか。

戦後強くなった代表としてストッキングと女性があげられるようになったとはいえ、女性にも未だ幾ばくかの悩みはあるが如く、過日我が家人に「若し神サマが、オバサンに美貌と才能と財産のいずれか一つ与えるといわれたら、オバサンは一体何が欲しい？」

と問いけるに、我が家人煥発を入れず答えて曰く

「美貌にきまってるじゃないの。」と。

何ゆえにやと問わば

「美しかったら、才能のある男と結婚出来、お金だって沢山出来るじゃないの」

とおおせになった。ムべなるかな。

我が才のなきを嘆き、七人の敵を向うに日夜艱難辛苦に耐え、奮励努力を続けている男達にとつて、げに不可解なるは「女の一生」である。

合　い　の　手

丸 茂 節 子

二、三日前の朝のテレビニュースで、なんと、四国松山の高松市にカラオケ神社が出来た模様を映していた。まるで結婚式でもはじまるようにおごそかに神主様が祝詞を唱えていた。そして歌が上手くなるように……と歌手の三沢あけみさんがきれいな声で歌っていた。

「お父さん、カラオケ神社ですって、本当に世の中変われば変わるものだわねー」

「本当だなあー、ウーン、カラオケもいよいよ神社まで出来るとはなあー」と、人間業も長くやっていると、世の移り変わりと共に、いろいろな事があるものだ……と思わず笑ってしまった。

最近、主人の大好きなゴルフも、すぐギックリ腰になってしまうため、先日折角申込んだコンペをキャンセルして、側でみている家族は、ホッとするやら、かわいそうになるやらで何とも複

雑な気持ちである。もう一つの楽しみのお墓は長時間座っているため、次の日から何日間か腰が痛み大変なのである。そんなわけで、お酒の呑めない主人の楽しみはいよいよカラオケと、プロのゴルフのレッスンのビデオを見るだけになってしまったのである。

四年位前までは、歌のウの字も口から出した事がなかった主人に、歌の大好きな私が、手取り、足取り教えた甲斐がやっと最近出て来たようで嬉しく思っている。

「しかし、人生何でもやってみるもんだねえー、一生懸命やっていたら必ずそれなりの楽しみが出て来るもんだから……」などと云っているが、それまでは会合などに出掛けても、

「いやあー 僕は歌はとても苦手で駄目なんですよ……勘弁して下さいよ」といっていた主人が、

「どうでしたか、今夜の会合は？、歌でも歌ったんですか？」

「いやあー、カラオケセットはあったんだけど誰も歌い出さなかったから……」

と、実に残念そうな顔をする程に変わって来たのである。なにしろ、「北国の春」と「みちづれ」の二曲で約一年間かかる程大変だった生徒（主人）が、今では約十五曲位のレパートリーを持ち、どこへ行ってもわれ先にとマイクを持つのだから、一応先生の私としては満足しているのだが……今まで何事につけても人様から注意されるといった事がなかった生徒だけに、

「あ、そこの所はもう少し早く、そこは声を殺して小さく……」

などといった注意にすぐカッとして、

「何しろ家の先生はすごくきびしいんだから…」と自分の下手を他所に、いちいち文句をつけるのである。まあ、そんな事でもめる位平和な時代なのだから……と思いつつも、

「それじゃ、コーラスグループにでも入って少し練習してみたらいいと思うわ、本当の教え方なんてもっとずっーときびしいのよー」

と、云わなければいい文句をつい云ってしまうのである。子供達のいない夜は度々こうして二人でカラオケを楽しみ、馬の小便みたいなうすい水割り呑んで楽しんでいるのである。

先日頼みつけの電気屋さんが来て、「奥さん、今度の土、日と二日間売り出しなんですよ、何か気に入ったものでもあったら買ってもらえるとうれしいんですけどねえー」

といろいろなパンフレットを持って来てくれた。その中に、今スナックで人気のビデオディスクプレーヤーが載っていた。

「お父さん、この機械をテレビに取りつければ、スナックと同じにテレビの画面に絵が出て、歌う順に歌詞の字の色が変わってすごく歌いいのよ。もう父の日は終わってしまったけど、遅まきながら父の日のプレゼントにこの機械を買いませんか？ それに明後日はお父さんの誕生日だから丁度いいじゃない？」

と云ったら、

「へーえー、スナックと同じように絵が出て字の色が変わって行くのかあー、そりゃいいねー、そうすれば歌も早くなったり遅くなったりしない

なあ、ウーン、でも高いだろうからどっちでもいいよー」

と云っていたが、三日後その機械を取り付けてもらい、画面に出て来る大きな字を見ながらすごく嬉しそうに主人は歌っていた。

「こりゃいちいち老眼鏡をかけなくてもいいし便利だなあー」

「そうね、それに日本中の景色も眺められるし、第一画面に出る絵の色がすごくきれいな色だわね。シャンソンなんか歌うとヨーロッパでもどこでも映るから、もう旅行なんか行かなくてもいいよだわねえー」

「しかし、長生きするもんだなあー、戦争でいつ死ぬか解らない時代の事を思うと夢のようだなあー、僕なんか生きて帰れたからよかったけど、あの時代に死んでしまった人は本当に気の毒だよ」間もなく、戦後四十回目の終戦記念日がやってくる。二度と戦争犠牲者など出ないように、そして、夢のような便利な生活が出来るように感謝しながら、今夜も主人の大好きな村田英雄の「夫婦酒」

歌詞「苦勞ーかけたなー、おまえーにはー」

合いの手「いいえー」

歌詞「泣かさーれーましたーよー、あんたーにはー」

合いの手「どういたしまして……」

と合いの手を入れながら、こうした元気な日が一日も長くつづきますように……と祈る気持ちでいっぱいである。





「ビルマ」にて

乏しきにならずに馴れて雨季離る
 椰子一つ飲み干しかねつ雨季の涼
 椰子酒強いる苦力政治に明るかりき
 見馴れたる目になほ珍し黄金の塔
 蚊張ぬちに雷鳴聞きつ戦友看護
 大合歓や一個少隊皆昼寝
 ▲復員中シンガポールで演芸会をみる▼
 文七が舞台に滞る、驟雨かな
 花道の椰子の葉ぬれて勸進帳

● 埼玉医大に入院中 59年8月

芥焼く習慣ありや毛呂の朝

蟬時雨歩行訓練見えかくれ
そろそろと歩行訓練蟬しぐれ

(栗林を行く
患者の列)

● 鎌倉にて 59年11月

古都よろし緋寒桜と竹の寺

廊長き小春日和や建長寺

静かさや抹茶もよろし竹の寺

● 京都大文字焼 60年8月

山は燃ゆ嵯峨野を燈ろうゆるゆらと

妙法の今日生きてあり五山燃ゆ

五山燃ゆ平和祈りて幾百年も

マスタ印刷 増田元助

診療報酬明細書返戻状況

5月分

返 戻 理 由		医科(乙表)件数			
		青 梅	福 生	秋 川	西多摩
1	保険者番号、記号○番号、公費負担者番号、市町村番号、受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	24	7	9	18
2	旧証の記号○番号	7	5	1	3
3	患者名、生年又は生年月のもれ	0	0	3	9
4	傷病名のもれ	0	0	0	2
5	診療月分、診療開始日、診療実日数、転帰のもれ	0	6	0	5
6	診察料(初診、再診、往診又は時間外等の表示)のもれ	0	0	0	1
7	診療月と診療開始日及び初診料の不一致	0	0	0	3
8	診療実日数と診察回数又は処方回数の不一致	3	6	1	14
9	投薬○注射(薬名、規格単位、用量、回数)の不備	10	1	0	2
10	処置○手術○検査○X線(薬名、回数、内訳)の不備	7	0	0	0
11	入院料の不備	0	2	0	0
12	点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明	0	2	1	3
13	契約外(国保、国鉄、公費等)	0	0	1	2
14	症状詳記(診療内容及び方針の説明等付せん参照)	2	2	0	0
15	医療機関(薬局)の申し出によるもの	0	0	0	1
16	その他	0	1	0	4
計		53	32	16	67

理事会報告

6月定例理事会

昭和60年6月26日(水)7:30~

西多摩医師会館

議事録署名人 { 植田 理事
森 理事

I 報告事項

- (1) 都医地区医師会長協議会報告 (瀬戸岡会長)
 - 配布資料にもとずき説明
- (2) 都医代議員会報告 (西村副会長)
 - 第182臨時代議員会および事業税特別措置撤廃反対決議、老人医療定率負担反対決議に関する瀬戸岡会長の賛成討論について
- (3) 各部報告
 - 保険部(木野村理事)
 - 地区医師会保険担当理事連絡会、国保指導整備委員会連絡会合同会議について
 - 公衆衛生部(松原理事)

- 福生保健所健康増進指導事業について
学校医部(東 理事)
- 学校医評議員会総会報告
産業医部(森 理事・高木理事)
- 労災、産業医部会、三者連絡協議会について
- (4) その他
医事紛争委員会報告(瀬戸岡会長)

II 協議事項

- (1) 医療協開催について(西村副会長)
- (2) 7, 8月医師会日程について(大塚理事)
- (3) その他
 - 東京都の精神衛生対策について
 - 東京都総合実施計画の概要について

— 以 上 —

表紙を語る

鳩車とドライフラワー

仕事の関係で、じっくり外の景色でも画き度いと常日頃思っているが、仲々機会がないのでつい静物画をかき機会が多い。

此の画では特に何を表現したいという様なものはなく、只身近にあるものをかき集めておもちゃの鳩車や軟膏の空瓶に一寸添えたドライフラワー、それに白いプラスチック製の植木鉢、石膏の

目玉等同じ白いものでも材質まで油絵で区別するのは私の技量では大変むずかしい事であるが、それぞれの白い色でも光による変化をバックと床の上においた青い布地で微妙に反射し変化するのを捉えればと思った。物体の持つ自然感をリアルに表現するのは大変興味もあるが、非常にむずかしい事でもある。

波田野 洋夫

お し ら せ

会報には様々の表現形式があってよいと考えていますので、投稿に関する規定はありませんが、会報用の原稿用紙(22×22行)を用いることを原則としています。記事に緊急性がある場合はメモ用紙でも何んでも結構ですが出来るだけ読みやすい原稿をお書き下さい。しめ切りは何時だとの問合せもありますが、会報の体裁が整わなければ発行が遅れることもあり、医療情勢よりみて緊急性

のある情勢があれば、その原稿を優先して発行を急ぎたいと思います。

巻頭の絵については、私の撮影技術上の制約もあり40号以上のものはむずかしく、もし横長あるいは縦長の作品ですでに写真になっているものは、葉書大以上の大きさであれば複写が可能です。勿論作品のネガがあれば問題ありません。

(村山)

あ と が き

本号は鎖夏特集号と銘をうっておりますので、時期はずれの残暑見舞をかねて波田野先生の絵を巻頭にかかげました。

8月15日は何の日と問われることもあるという時代になり、戦後40年をグラフィックに特集する雑誌が出まわっている。プレ(終戦直後)、ポスト(現在)という観点でみると政治的にみてプレが抑圧的で、ポストが解放的であろうか、解説抜きに写真でみる限りその逆のようで、プレの方より活性化された人間の本性が浮かび上っている。

何らかの抑圧が解放へのエネルギーとして励起されていく状況はつねに持続するのではなく、一定の周期でくり返すように読みとれる。それは人間の成熟と老化がもたらす避けがたい喪失という宿命とも連環するようであるし、終末を回避する自律機能を内包するようでもある。

これからの医療活動もアメとムチの狭間で呻吟するであろうが、戦後医療史という長い視点で見れば何ほどのことでもないと思うのだが。

村山



くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)

東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)

青梅支店 (TEL 04288-3-2515)
奥多摩特別出張所

福生支店 (TEL 0425-51-1021)

村山支店 (TEL 0425-61-1211)

五日市支店 (TEL 0425-95-1311)

河辺支店 (TEL 0428-24-2401)

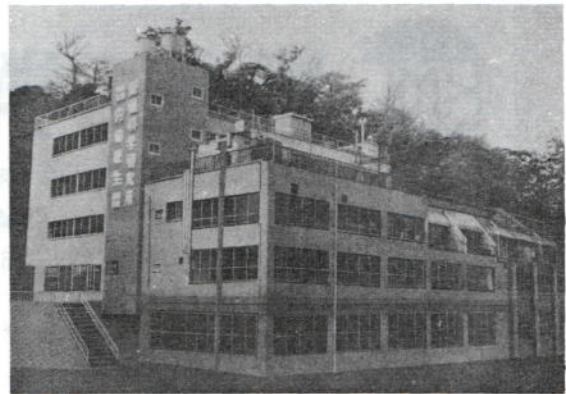
臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町3-17

電話 0426 (26) 2203・2204

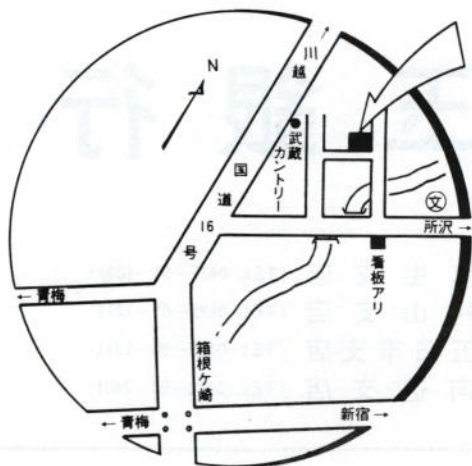


- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
- 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)
- 関係医療機関 約 3,500ヶ所
- 広範囲な検査内容
 - 内分分泌学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

！都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。

期待と信頼にこたえて15年!!

検査のことなら**武蔵臨床**へ 電話一本緊急検査に応じます
学校、会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢339-1

TEL 0429 (64) 2621(代)



関東医学検査研究所

本社研究所 埼玉県所沢市岩岡町281-58

TEL. (0429) 23-7272 (代表)

東京営業所 Tel(03)979-3261 西東京営業所 Tel(0425)65-0072

特殊検査のルーチン化を目指す

主要検査項目

内分泌機能検査
生化学検査
薬物検査
微量金属代謝検査
免疫血清学検査
ウイルス検査
血液学的検査

関東医学研究会グループ

関東医学検査研究所 埼玉県所沢市岩岡町281-58
埼玉臨床検査研究所 埼玉県鴻巣市天神三丁目673
群馬臨床検査センター 群馬県前橋市六供町1360-1
東京臨床検査研究所 東京都板橋区徳丸4-14-18
セントラル・ラボラトリー 東京都中央区日本橋兜町12-7